

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No308号 2013.08.16
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.ialkaikotekai.com>

港湾うたごえ祭典原告団初参加

～港はひとつ、心はひとつ、絆を結ぶ港湾の心もひとつ～

「港湾のうたごえ祭典・名古屋港」は8月10日に第50回記念として、第1部が音楽会、第2部が交流会（夏祭り）という構成で、にぎにぎしく行われました。当日の名古屋は摂氏38度という猛暑日にもかかわらず、約200名の方が全港湾名古屋支部会館を訪れました。

港湾うたごえの歴史

港湾のうたごえ祭典は、1964年に第1回がここ名古屋港で開催されました。当時の三井三池闘争や安保闘争からはじまった日本のうたごえ祭典がそのきっかけになったそうです。あれから50回目を迎え、様々な困難を乗り越えて続く港湾のうたごえ祭典は、私たちにも大きな力を与えてくれるものです。



第1部:音楽会

第1部の音楽会では、港湾合理化反対闘争など、その時々の港湾労働者の生活や闘いを創作曲にまとめた、「港はひとつ 心はひとつ」や「泥海の舳（はしけ）」などが披露されました。また、合唱だけではなく、ソロあり、クラリネット3重奏ありと大変工夫に富んだバラエティ豊かなものでした。

そして、港湾の若い方々が中心となり、記念祭典の運営に汗をかきながら頑張っていた姿が印象的でした。



オープニングの名古屋港合同合唱団の皆さん

第2部:夏祭り交流会



合唱からは希望、勇気、元気をいただけます。第2部の交流会では10分の時間をいただき、2名のJAL原告団から裁判の状況を訴えました。そして私たちの応援歌である、「あの空へ帰ろう」を1番はデュエットで、2番と3番は港湾合唱団の方々のお力を借りて合唱することができました。

物販にも大変多くの協力をいただきました。原告団のキーホルダーセットを買って下さった、仙台から参加されていた方がおりました。この方は、第1部で脱原発・震災地からの報告をされました。そこでの発言で「次に何かあったときには、今度は僕たちが皆さんを助ける番です！」には、会場が大きな拍手と感動に包まれました。私たちも1日も早く争議を解決して、支援の皆様へお返しができるようにと、改めて思いました。



訴えをする原告の二人

先日私たち原告団は、合唱団フェニックスを創りました。これからうたごえへの参加も多くなると思います。その時には、皆様のところに勇気と希望の芽を産むことができるように精進いたします。